

科目名		授業形態	担当教員名	
心理学		講義	尾崎 勝彦	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
良好な対人関係(对患者、対同僚、対歯科医等)を構築するために、人の行動と心理に関する基本的な知識と考え方を習得する。更に直接対人接触職である医療者として、人間とは何か、を考えることができるようになる。				
授業の到達目標				
1. 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考およびパーソナリティとの関係を概説できる。 2. 動機づけを概説できる。 3. 欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。 4. 人生や日常生活におけるストレスを概説できる。 5. こころの健康に対する支援を概説できる。 6. ライフサイクルの各段階におけるこころの発達の特徴を概説できる。 7. こころの発達にかかわる要因を概説できる。 8. パーソナリティの特徴を概説できる。 9. 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションを説明できる。 10. 文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを列挙できる。 11. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切にコミュニケーションできる。 12. 対人関係にかかわる心理的要因と行動を概説できる。 13. 知能の発達の経年的変化を概説できる。 14. 集団の中の人間関係を概説できる。				
授業計画				
回	内容			
1	心理学の立場・考え方・研究方法(第15章)			
2	①知覚と感覚；知覚の成立、体制化、諸相、錯視 ②記憶の種類 (第1,2章)			
3	学習；レスポンド条件付け、オペラント条件付け、その他の学習(第2章)			
4	①動機づけ 内発的/外発的、社会的、欲求(第3章) ②感情とストレス(第4章)			
5	①パーソナリティー 類型論と特性論(第5章) ②知能 知能と知能テスト(第6章)			
6	発達理論 主な発達理論(第8,9章)			
7	対人認知 対人魅力、社会的影響(第10,11章)			
8	カウンセリングと心理療法(第12~14章)			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	基礎的な理解ができているか		
レポート	15%	書式に従っているか、内容は妥当か		
小テスト				
平常点				
その他	5%	グループワーク、ペアワークへの参加		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
最新歯科衛生士教本 心理学 第1版	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載	補足教材としてプリントも多用するので、プリントの整理をきちんとしておくこと。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
よくわかる臨床心理学	山口創		川島書店	
自由記載				
備考				